



2014年秋闘・年末一時金闘争

博愛会・西山・五和の園・予防センター・日本臨床・第二日赤・福知山市民・舞鶴市民・全医労・京大・花の木・洛南が昨年実績突破。12組合が昨年実績確保。平均2.06+24769(平均支給額620,003円)

京都医労連加盟組合に示された年末一時金は、12組合が昨年実績を突破。12組合が昨年実績を確保。6組合が昨年実績を下回る状況となっています(12月10日現在昨年比・+0.05ヶ月+α)



○西山病院職員組合は、昨年の経営難を理由とした一時金回答0という異常な事態を克服し、今年は、しっかりと経営資料も示し交渉を行い、当初回答を上回る3次回答で妥結しています。○予防医学センターも昨日の交渉で、職員の生活を守り、厳しい労働で頑張っている評価をと経営者に迫り、昨年を上回る回答を引き出し妥結しました。○人勧適用の組合では、今年度の一時金は+0.15となっています。政府が進めている「公務員の給与見直し」で、来年4月の給与の大幅引き下げが検討されていますが、京都府・京都市などでは今年の一時金と来年の話は切り離すという画期的な対応を引き出しています。

○全日赤は、「人勧準拠」に固執して、来年の給与切り下げなどを検討している日赤本社を相手に、中央労働委員会にあっせん申請をしてたたかっています。

大事な成果を引き出した2014年秋闘ですが、まだ交渉中の組合も多く、最後まで支援が必要です。

いよいよ衆議院選挙最終盤

消費税増税問題、医療・社会保障制度「改革」、集团的自衛権、年金引き下げ問題などなど、重大な争点の大事な選挙です。すべての組合員が参政権行使・投票に行くことを呼びかけます。

棄権は危険！

戦争に行くな！投票に行こう！

*青年のネットのスローガンです。なお、京都民医労のニュースを掲載します。参考にしてください。